
みゆ（にゃんこ）と子猫たち

シュリンケル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

みゆ（にゃんこ）と子猫たち

【Zマーク】

Z3391BA

【作者名】

シユリンケル

【あらすじ】

前作（「エツセイ わんこ」の視点）や「にゃんこ」の視点（など）からずいぶん時間が経ちました。

新たな家族を紹介するべくエツセイを追加します。
お暇つぶしにお読みくださいです！

1・みゆの青春。そして妊娠。

あら、みなさんお久しぶりだわね。

ずいぶん前になるかしら、あたいの毎日を紹介したわよね。
あれからずいぶん色々な事があつたわ。

・・・あ、ちょっと待って

・・・ふひ、イモリかと思つたらゴミだったわ。（つい気がそれちゃうのよ）

ちなみにあたいは一日5匹のイモリを捕獲した記録を持つてるのよ。
彼らはあたいの手の中から決して逃げられはしないのよ。

さてと、いつたいどこから話題をうかしからねえ。

そうね、ちょうど一年くらい前だつたかしら。

あたいはずいぶんとオスねこに追つかれていたのよ。いわゆる
”モテ期”ね。

通りの角をひとつ曲がるたびに、あたいの魅力に誘われてオスねこ
がひょっこり出てくるのよ。

気に入ったオスの場合、あたいはぼてつと道に寝転んでおなかを見
せながら毛づくろいをするの。

（彼らもまた、あたいの魅力から決して逃げられはしない）
うなーん、と彼らはあたいに求愛して見せるわ。

時には美味しい餌をくれる別宅を紹介してくれたり、時には彼らの
テリトリーに連れ込まれて囮われそうになつたり、色々な日にあう

のよね。（油断は禁物よ）

そんなオスねこの候補からあたいが身体を許したのは、一匹だけ
だった。

彼は白い身体に大きな瞳を持ち、とても育ちが良さそうだった。
雪の上を優雅に歩く彼を見て、あたいは一目で恋に落ちてしまった
んだわ。

あたいは思わず雪の上で身体の力を抜いたまま、ぽてつと横たわっ
たの。

それを見た彼は優雅に近寄ってきてこいつ言ったの。

『お嬢さん、そんなところに寝転ぶと風邪をひきますよ』

そう言って彼はあたいのほっぺをペロリとなめてくれたわ。（あた
いの胸がきゅん、と鳴ったわ）

そんな事があつて、あたいたちは一夜を共にしたのよ。
(あたいはそうして命を宿したの、このおなかの中に)

- - -

あれから数ヶ月。

あたいは日増しに体重が増え、日に見えてまるまると太つていった
の。

自宅の『主人様たちが不思議な顔をしてあたいの身体を眺めるよう
になつたのはこの頃からね。

「お父ちゃん、みゅつたらまるで妊娠しているみたいにお腹が大
きいわ」

”おかあちゃん”があたいのお腹をさりながら心配でひきつった。

「“ひねどね”と”おとひちゃん”があたいのお腹をマッサージする。

あたいは彼らにお腹を優しくなされながら、なんとか妊娠している事を訴えてみたの。

うなあーー」。あおお。『ひねどね。

彼らはそんなあたいに柔らかい櫛をあてて何度もマッサージしてくれたの。

「きつひか、捨て猫だつたから今だにたくさん食べひやうじやないかな」

おとひちゃんがわいつづと、おかあちゃんも納得したみたいだつた。けれどもイヌの”ピンちゃん”（あたいの恩人）はちやあんと分かっていたのよね。

あたいの身体の変調を敏感に感じたピンちゃんは、事あるごとにあたいの身体を丁寧に舐めて癒してくれたんだも。

- - -

あたいのつわりは人間たちにはとても微妙な感じだつたらしく。

夜中があたいがげこげこと嘔吐しつづると、彼らは心配でひきつて身体をなでては労わってくれた。

「ねえ、これつてつわりみたいじゃない？それとも変なものでも食べてきたかな？」

そんなふうにおかあちゃんがあたいの顔を覗き込む。

「ううーん。正直、わからないねえ。おなかを触つてもうとちか赤

ちやんかまつたくわかんないよね

ああ、おとうちやんたら。うん」と一緒にしないでほしいんだわよ。

せつじてあたいはいつも寝床でのんびりと眠つたものよ。
(やこはりょうくん(おとうちやんの息子)の勉強机に敷かれた柔らかい座布団の上だつた)

お外では春を告げる巨大な風が吹きすさび、大きな月が辺りをきらきりと照りしていた。

- あたいは眠りながら感じていたわ、赤ちゃんたちの鼓動を。
(ひんちゃんの心配そうな視線と共に)

> . 1 1 3 7 6 5 — 1 7 6 8 <

1・みゆの青春。そして妊娠。（後書き）

次回は出産話につながります！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3391ba/>

みゆ（にゃんこ）と子猫たち

2012年1月8日20時47分発行